

令和 6 年度 自己評価・学校関係者評価

教育目標	「心豊かにたくましい子どもを育てる」「人を思いやる豊かな心を形に・・・」を念頭に基本的生活習慣を身につける
------	---

1. 教育目標について

※自己評価は4段階評定 自己総合評価及び学校関係者評価はABC評価にて評定

評価項目	自己評価		学校関係者評価	
	評価	総合評価	評価	評価理由
教育目標を理解し子ども達に指導することができた。	3	A	A	教職員の理解により、各場面において積極的な指導が確立しています。0歳児～6歳児一人一人の活動を観察し、個性を尊重した保育、教育活動の丁寧さと工夫がみえます。今後も教育目標の具現化を更に進め良質保育・教育を期待します
子ども達が元氣よく挨拶が出来るようあらゆる場面で指導した。	4			
明るく元氣な子どもの育成に努めた。	4			
子ども達一人一人の特徴を観察し尊重することができた。	3	A	A	
毎日の活動で社会的生活習慣を身に付ける為の指導は十分に行った。	3			

2. 教育計画について				
指導計画作成にあたり、子どもの成長状況を把握し配慮している。	3	B	B	教育目標を具体的に表現できるよう試行錯誤の計画が確認できます。質の良い安全な保育、教育を行う為に、内容や行事の見直し等により良い計画・運営ができることを期待します。計画の運営については、問題なく実施され評価できます。
指導計画作成には、園の教育方針が活かされている。	3			
指導計画の内容は、過去の計画に左右されず現実にはワッチしている。	3			
指導計画には、教育内容に対する自身の考えを十分盛り込んで作成した。	3	B	B	
行事等の計画とその運営は適切であった。	3			
計画の変更は、状況により随時行えるよう順応性を考慮している。	3			

3. 教育活動について				
子ども達に多くの体験をさせる為の工夫は十分に行った。	3	B	B	教職員が考え工夫し、保育・教育で実行できる体制が必要です。教育カリキュラムが多い分、子どもたちに押付けの指導にならないような配慮も伺えます。体験活動が増えたことも評価する。
生活習慣の指導について、一人一人を観察し対応している。	3			
子どもの自主性に配慮し、押付けの指導は行わない。	3			
子ども達の発達状況を把握している。	3	B	B	
子ども達が興味のもてるような活動内容を常に考え実践している。	3			
教育効果を高める為の事前準備は万全である。	3			

4. 保健・安全について				
子どもの視診は、登園時及び降園時に必ず行っている。	3	B	B	子ども一人一人の視診は確実に実施され、ヒアリングによる事故防止にも努めています。インフルエンザ・コロナ対策にも注視し園児に対する指導も継続できているようです。在園児の登園管理もしっかりできているようです。
危険回避の為に危険個所の把握に努めている。	4			
安全管理について、年齢に応じた言葉や方法で指導を行った。	3			
うがい・手洗い等の基本的生活習慣の習慣化が図れた。	3	B	B	
万一来備え、事故発生時の対応を確認している。	3			
自らも体調管理には十分注意している。	3			

5. 学級経営について				
子どもの気持ちを理解し十分に遊びに保わった。いっしょに遊んだクラスをまとめ全員が仲良く楽しく生活できるよう工夫している。	4	B	B	クラス担任を中心に、楽しく毎日の活動が行われるよう責任ある行動が認められ、一人一人の活動を注視し個性を尊重した指導は、全クラスに共通しています。子どもへの言葉かけや接し方に、教職員としての責任と品格の向上があります。信頼される教職員を目指し更なる向上を期待します。
子どもの気持ちに十分に配慮し個人を尊重した指導を行っている。	4			
子ども達とのスキミングは、一人一人全員に十分行っている。	3			
子どもの話をしっかりと聞くよう心がけ実行している。	3	B	B	
保育教諭としての品格を心がけた言葉や態度で子ども達に接している。	3			

6. 研修について				
研修には常に自らのテーマを持って積極的に参加している。	3	C	B	前年度よりは高い評価です。多くの研修に参加できたことが伺えます。どの研修必要なのか吟味し、教職員の学びたい内容とワッチングする研修に参加し自らのスキルアップに活かせるよう期待します。
研修に参加するのは楽しい。	3			
自らが進んで研修会を選択し参加することで自己研鑽に努めた。	2			
研修で得た内容が毎日の教育活動及び私生活に活かされた。	3	B	B	
今後研究したい課題やテーマがある。	3			

7. 保護者・地域との関わり				
子どもの成長について保護者との連携は十分に行っている。	4	B	B	未就園児教室の内容については低い評価がありました。未就園児の低年齢化により内容の見直しが必要と感じます。保護者と対面する機会が減少している中、お手紙やアプリ等を使い工夫出来ているようです。
担当するクラスの保護者との意思の疎通が十分に図れている。	3			
保護者のクレーム・相談等には園を代表する意識で誠実に対応している。	3			
現在の園と地域との関りは十分だと思う。	3	B	B	
地域の主催する行事には積極的に参加している。	3			
「未就園児教室」の内容は保護者ニーズに即したものであった。	3			

8. 危機管理対策				
与薬する場合は、指定用紙に記載し保護者との連絡を密に適切に実施した。	4	B	B	各種マニュアルの整備に従い教育現場でも実施・定着できているように伺えます。今後とも在園児の命を守る行動を第一に考え各種マニュアルの内容を教職員全体に周知することを期待します。
SISD（乳幼児突然死症候群）等の防止対策を行っている。（睡眠時観察等）	3			
感染症及び食中毒の防止対策を行っている。（マニキュアルによる実施等）	3			
不審者侵入に対応する為、手順を確認し万ーの場合に備えた。	3	B	B	
虐待等の状況が見受けられないか、日々園児や保護者の様子に留意した。	3			
通園バスの運行時等運行の際、車内に子どもの見落としがないか常に確認した。	4	B	B	
非常災害に備え、常に意識した行動に努めた。	3			

9. その他				
自らが求める教師像に向かって努力した。	3	B	B	特に大きな事故や問題もなく、順調な運営を評価します。職務のマンネリ化に対し改善が必要そうです。職員一人一人が協力し柔軟な働きができることを期待します。
梨花幼稚園（組織）の一員として協働することができた。	4			
私生活を含め常に教師としての自覚と責任を意識している。	3			
職務のマンネリ化防止に努めている。	3	B	B	
子どもに要求することは自らも実行している。	3			
備品・消耗品等の効率よい使用を考えて実行している。	3			

令和 7 年 3 月 22 日

当評価委員会は、提出された自己評価及び総合評価表等について、現状を踏まえ評価を行い以上の通り報告いたします。